

# 第4分科会

## 25年度新入生は何をどう学んで来るのか（来ないのか）

### —新指導要領を手がかりに大学基礎教育を考える—

#### 分科会概要：

今から2年半後の2025年度、新学習指導要領に沿って学んだ新入生が大学に進学してくる。

新指導要領は「生涯にわたって探究を深める未来の創り手」の育成を掲げ、「主体的・対話的で深い学び」を実現するとしている。では、実際に初等中等教育はどのように変化するのだろうか。とくに、教育格差が深刻化・固定化する社会を打破する原動力としての「相互理解の基盤」となるべき基礎教育はおろそかになっていないだろうか。分科会では、学習指導要領の「理念」と「実装」を俎上に上げ、小中高大を貫く基本的な学びのあり方を考えたい。

#### <プログラム>

14：00 開会

14：05 報告1. 「学習指導要領の質的転換の経緯と現状について」(仮)  
文化庁 次長、元・初等中等教育局教育課程 課長 合田 哲雄 氏

14：35 報告2. 「新要領に対する学校現場における受け止めと課題」(仮)  
岐阜聖徳学園大学 教育学部 教授 玉置 崇 氏

15：05 報告3. 「総合的な探究の時間を考える  
—フランスの高校における哲学教育との比較」(仮)  
京都薬科大学 基礎科学系 准教授 坂本 尚志 氏

15：35 休憩

15：45 指定討論  
京都教育大学 教育学部 准教授 神代 健彦 氏

16：05 全体討論

17：00 閉会

#### <コーディネーター>

京都薬科大学 基礎科学系 教授 上野 嘉夫 氏  
龍谷大学 社会学部 准教授 築地 達郎 氏